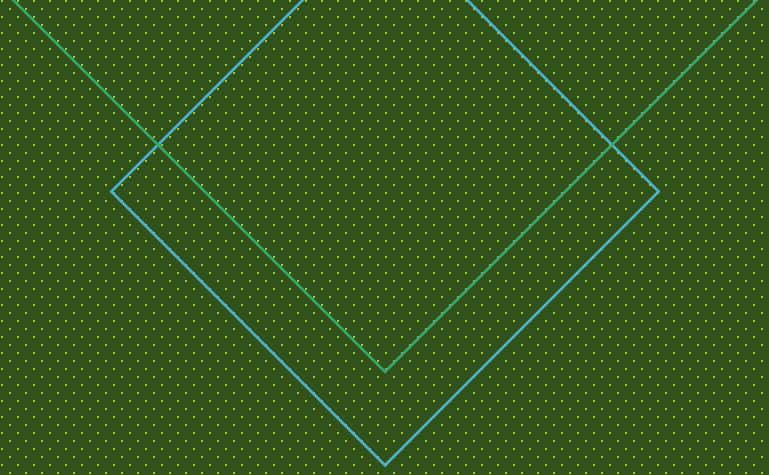




2021年1月実施 オンライン授業に関する アンケート（学生）

結果概要報告

京都ノートルダム女子大学 教務委員会

結果報告の流れ

I. 調査目的

調査の目的について

II. 調査方法

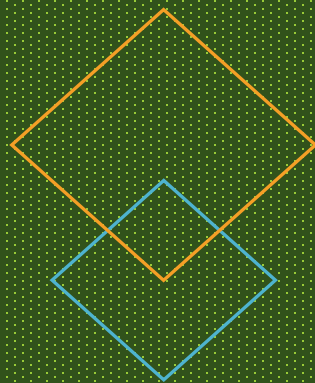
調査時期・方法・
対象者・調査項目
について

III. 調査結果

調査結果の概要を
説明。
特に1年生と上級
生（2年次以上）
を比較しながら報
告する。
項目によっては学
科ごとの結果も報
告する。

IV. 次年度および コロナ収束後の 授業に向けて

調査結果より後期
授業について総括
し、2021年度前
期授業での改善に
向けて、そしてコロ
ナ収束後の授業を見
据え、結果の検討、
改善に対する提案
を行う。



I 調查目的

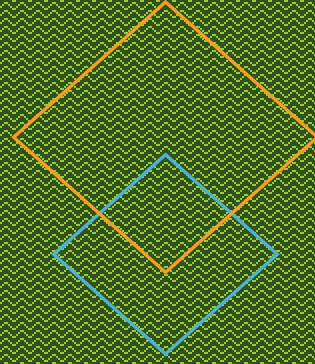
I. 調査目的

- 2020年度後期，本学では9月25日（金）より授業を開始し，後期は「対面授業」をベースとしながら，「ブレンド授業（対面授業とオンライン授業を組み合わせる形式）」，「オンライン授業」（特に受講生数が多いもの）と複数の授業スタイルで進めた。
- 2021年1月14日に，京都府に緊急事態宣言が発出された後も，京都府から大学への休校要請は無かったため，大学全体としては，上記の授業スタイルを継続した。
- 後期は前述の通り，複数の授業スタイルを行ってきたことから，コロナ収束後の授業の在り方について参考にするためにも，オンライン授業のみならず，「ブレンド授業」について問う項目も含めて，調査を実施した。

I. 調査目的

参考：これまでの調査実施について

調査名	時期・対象者	目的
第1回オンライン授業に関するアンケート	2020年4月末～5月 調査対象者数：695名	新型コロナウイルスの感染が拡大する中，多くの学生・教員共にとって初めての経験となる「オンライン授業」に学生はどのように取り組んでいるのか，また，オンライン授業の実施に対する不安や困っていることを把握し，今後のオンライン授業のあり方を検討するために実施した。
第2回オンライン授業に関するアンケート	2020年7月 調査対象者数：606名	前期2回目の調査を前期終了時に実施し，第1回調査以降のオンライン授業の評価や，一部対面授業が開始されてからの実態を把握することを目的とし，前期授業を総括するため実施した。
第3回オンライン授業に関するアンケート	2021年1月末～2月 調査対象者数：318名	1月から2月にかけて調査を実施，後期授業を総括するとともに，コロナ収束後のオンライン授業やブレンド授業のあり方を模索することを目的とし，後期終了時に調査を行った。



Ⅱ 調査方法

Ⅱ．調査方法

- 1. 調査時期
- 2021年1月14日～2月8日
- 2. 調査方法
- Microsoft Formsによるオンライン調査を実施した。
- manabaやCampusmateを通じ，学部生にオンライン調査への回答を依頼した。
- 調査は成績には一切関係しないことを教示し，無記名で行った。
- 回答実施時間（平均）は，約7分であった。

Ⅱ．調査方法

- 3. 調査対象
- 本学学部生318名（在学生の24.9%にあたる。1，2年生については3割を少し上回る回答率であった）。学年と学科の内訳は表1の通りである。

表1 調査対象者内訳

	英語英文学科			国際日本文化学科			こども教育学科			心理学科心理学部			福祉生活デザイン学科 生活福祉文化学部			合計		
	回答数	在籍数	回答率	回答数	在籍数	回答率	回答数	在籍数	回答率	回答数	在籍数	回答率	回答数	在籍数	回答率	回答数	在籍数	回答率
1年生	23	99	23.2	30	70	42.9	19	78	24.4	36	111	32.4	27	67	40.3	135	425	31.8
2年生	29	88	33.0	15	47	31.9	13	50	26.0	27	76	35.5	17	48	35.4	101	309	32.7
3年生	10	78	12.8	13	53	24.5	14	64	21.9	10	61	16.4	10	38	26.3	57	294	19.4
4年生	7	76	9.2	6	34	17.6	2	45	4.4	8	60	13.3	2	35	5.7	25	250	10.0
合計	69	341	20.2	64	204	31.4	48	237	20.3	81	308	26.3	56	188	30.0	318	1278	24.9

Ⅱ. 調査方法

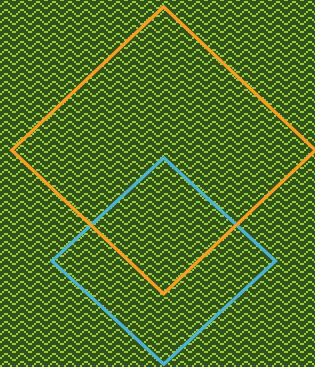
• 4-1. 調査項目

- 1. 学年
- 2. 所属学科
- 3. 後期に受講した「授業スタイル」
- 4. これまでのオンライン・ブレンド授業に対する全体としての「満足度」（5件法）
- 5. これまでのオンライン・ブレンド授業に対する全体としての「理解度」（5件法）
- 6. 全体として、どの位熱心にオンライン・ブレンド授業に取り組んだか（5件法）
- 7. 15回の授業のうち、オンライン授業の割合はどの程度だったか
- 8. 後期に受けた「オンライン・ブレンド授業」の形式
- 9. 後期に受けた授業の中で、最も学習効果を感じた「オンライン・ブレンド授業」の形式
- 10. オンライン・ブレンド授業では課題に対する先生の何らかのフィードバックがあったか
- 11. オンライン・ブレンド授業では「課題」や「振り返り」が提示されていたか
- 12. オンライン・ブレンド授業では、15回の授業の途中に「中間課題」（小テストや中間レポート）があったか

Ⅱ．調査方法

• 4-2. 調査項目

- 13.「ブレンド授業」の場合,「オンラインで授業を行う日」はシラバスや授業開始時の説明通りに実施されていたか
- 14.後期のオンライン・ブレンド授業で困ったこと（複数選択）
- 15.後期のオンライン・ブレンド授業で良かったこと（複数回答）
- 16.後期のオンライン・ブレンド授業で学習効果があったと感じること（自由記述）
- 17.オンライン・ブレンド授業で困っていること（自由記述）
- 18.最も好む授業スタイル（講義科目の場合）
- 19.最も好む授業スタイル（演習科目の場合）
- 20.最も「学習効果」が高いと思う授業スタイル（講義科目の場合）
- 21.最も「学習効果」が高いと思う授業スタイル（演習科目の場合）
- 22.感染拡大時に望む, オンライン授業を取り入れる割合について
- 23.感染収束時に望む, オンライン授業を取り入れる割合について
- 24.大学の授業に関することで何かあれば記載（自由記述）



Ⅲ 調查結果

Ⅲ. 調査結果

・ 0. 後期に受講した「授業スタイル」

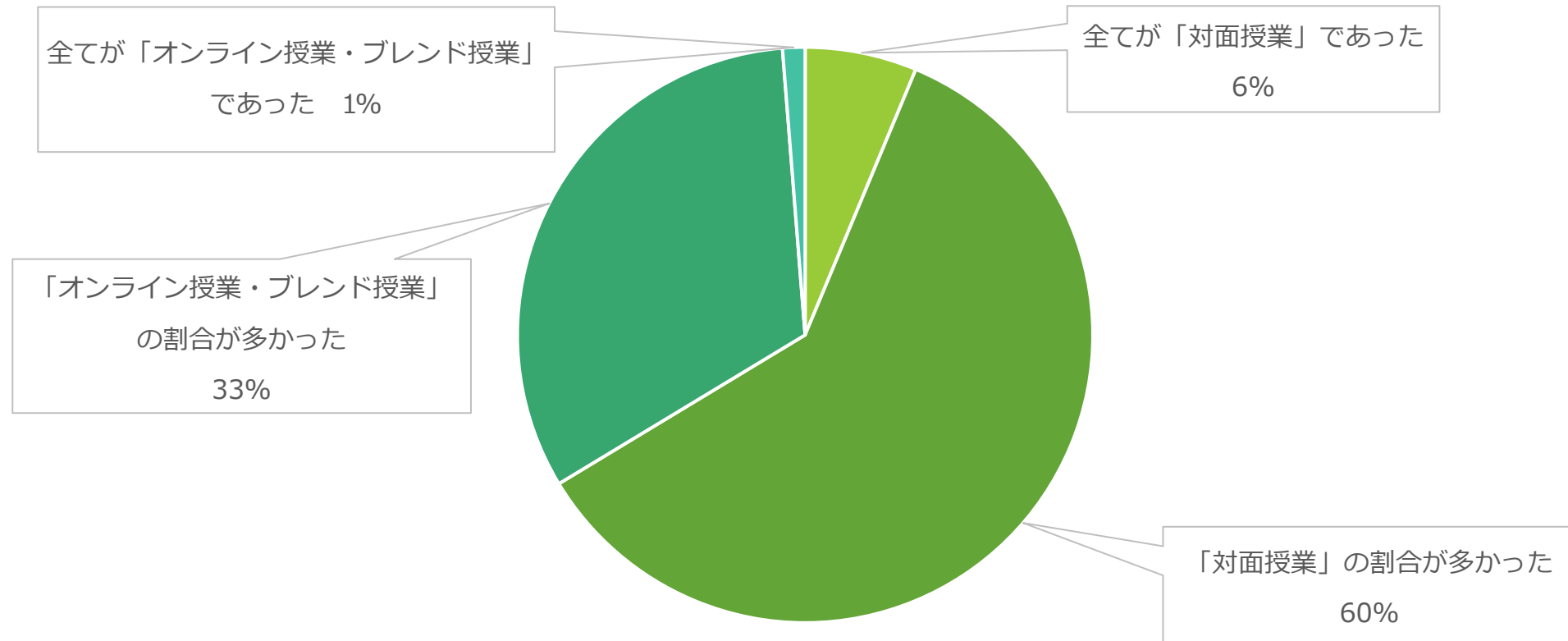


図0 後期に受講した「授業スタイル」 (%)

* 「全てが対面授業であった」と回答した者（6%）は、以降の図1～図20の項目には回答していない

Ⅲ. 調査結果

• 1-1. オンライン授業に対する満足度（4学年×5学科別）

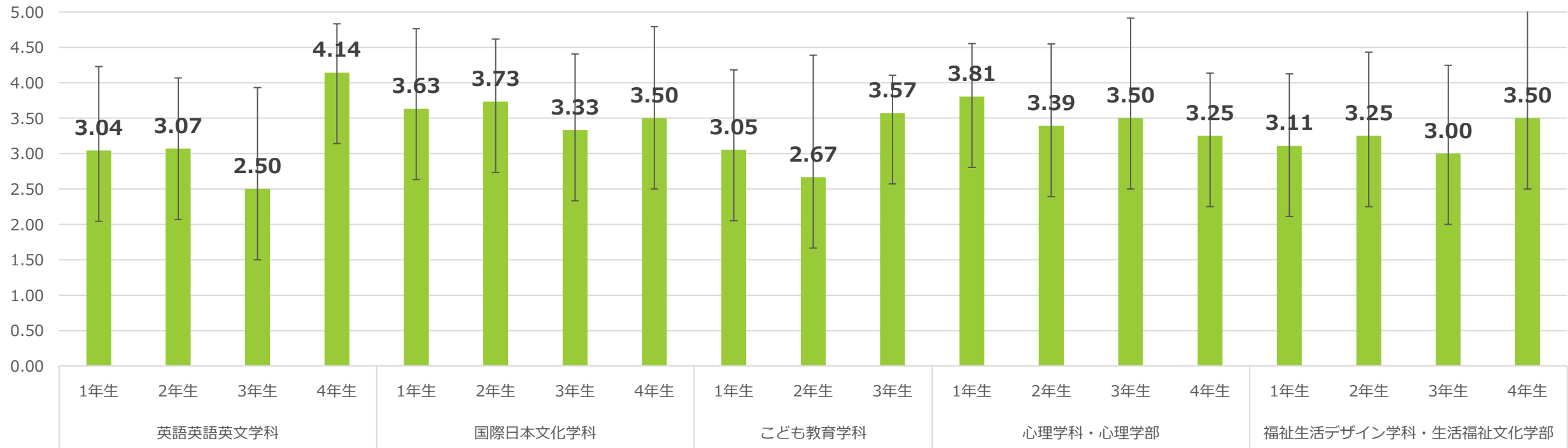


図1 オンライン授業に対する満足度（5件法）

回答者全体としては、**平均=3.32, SD=1.126**

参考：2020年5月平均=3.09, SD=1.081 / 2020年7月平均=3.11, SD=1.085

Ⅲ. 調査結果

• 1-2. オンライン授業に対する満足度（1年生・上級生×5学科別）

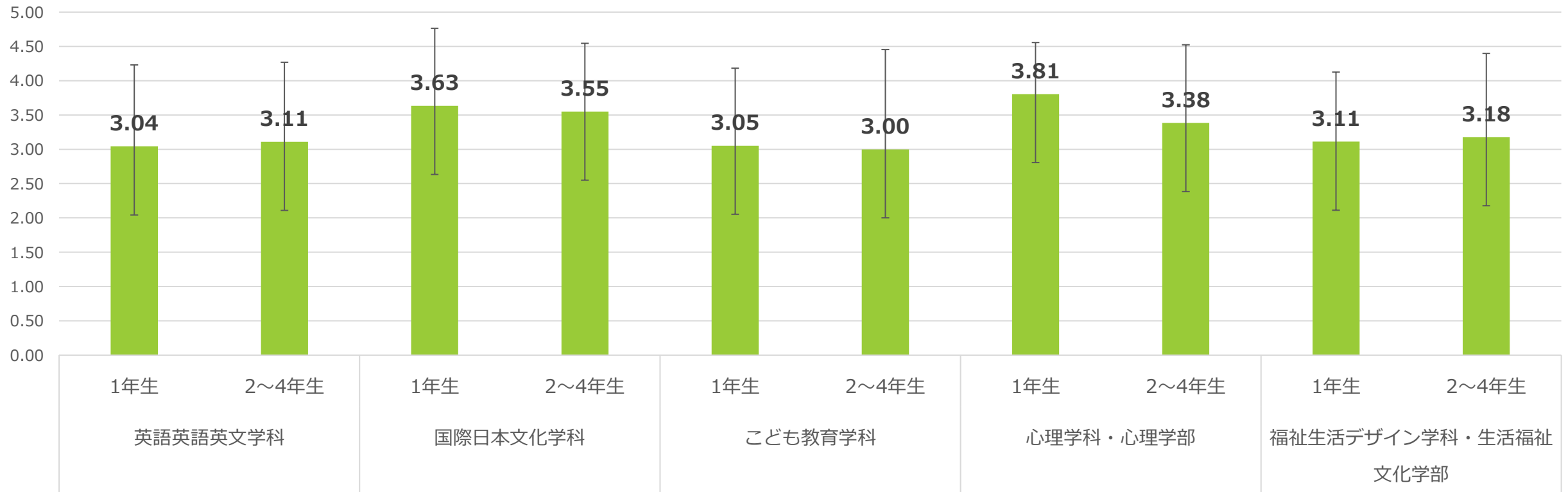


図2 オンライン授業に対する満足度（5件法）

満足度は、1年生と2～4年生の間に有意な差はみられない。学科間には有意傾向あり。

Ⅲ. 調査結果

• 1-3. オンライン授業に対する満足度 1年間の推移（全体）

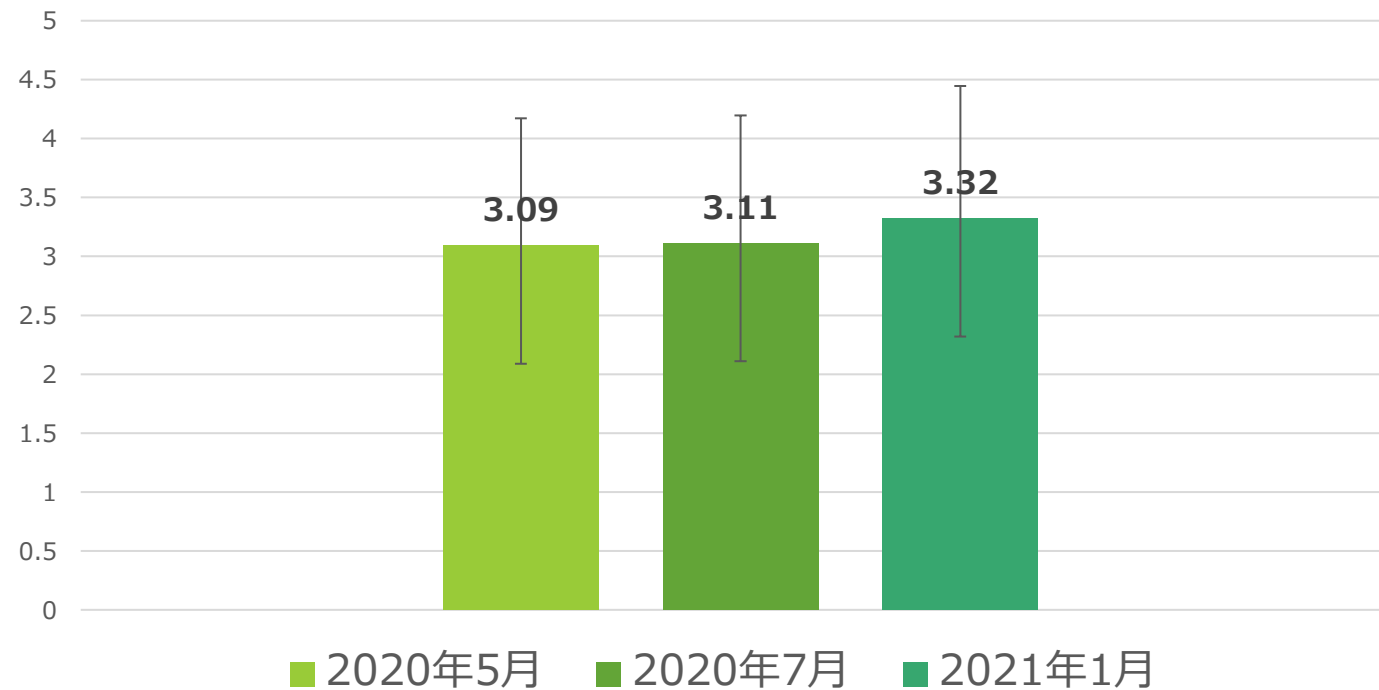


図3 オンライン授業に対する満足度（5件法）

Ⅲ. 調査結果

・2-1. オンライン授業に対する理解度（4学年×5学科別）

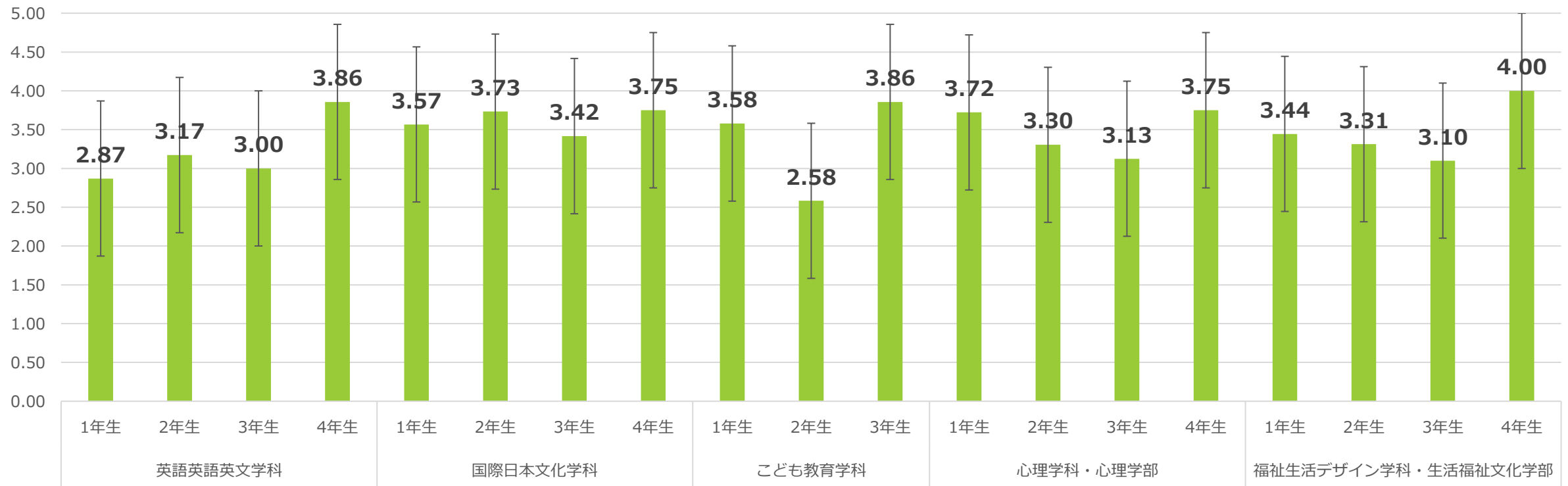


図4 オンライン授業に対する理解度（5件法）

回答者全体としては、平均=3.39, SD=1.074

参考：5月平均=3.03, SD=1.085 / 2020年7月平均=3.03, SD=1.111)

Ⅲ. 調査結果

・2-2. オンライン授業に対する理解度（1年生・上級生×5学科別）

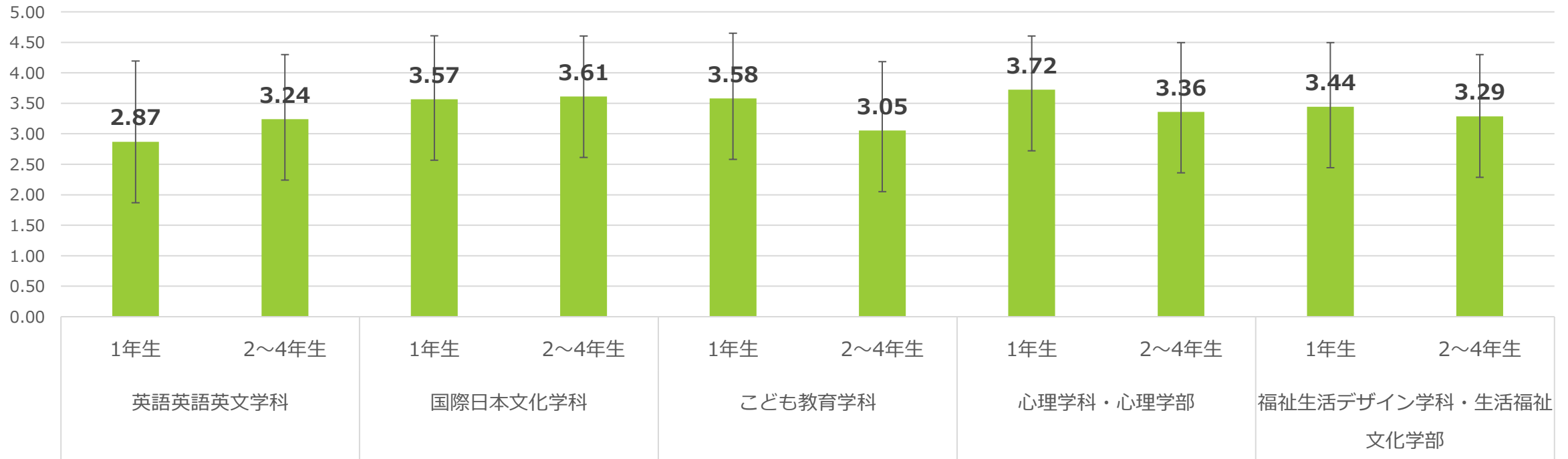


図5 オンライン授業に対する理解度（5件法）

理解度は、1年生と2～4年生の間に有意な差はみられない。学科間には有意傾向あり。

Ⅲ. 調査結果

・ 2-3. オンライン授業に対する理解度 1年間の推移（全体）

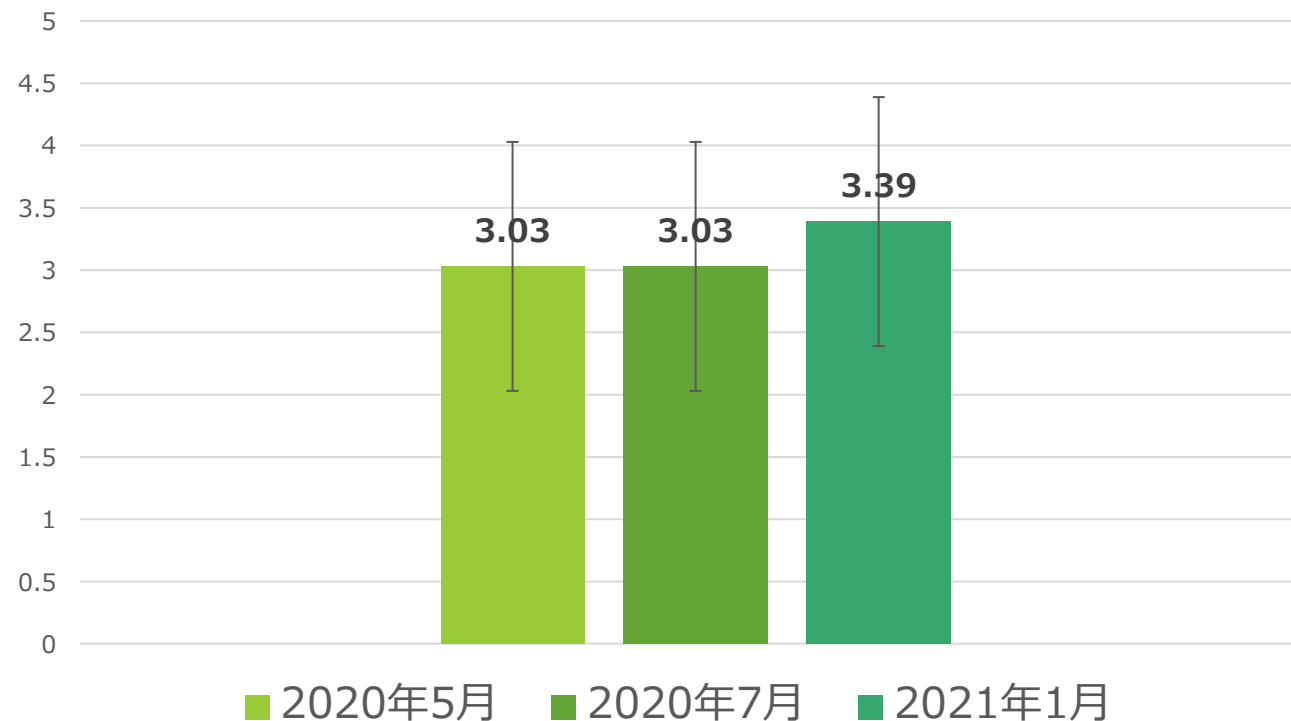


図6 オンライン授業に対する理解度（5件法）

Ⅲ. 調査結果

・ 3-1. オンライン授業に対する取り組み程度（4学年×5学科別）

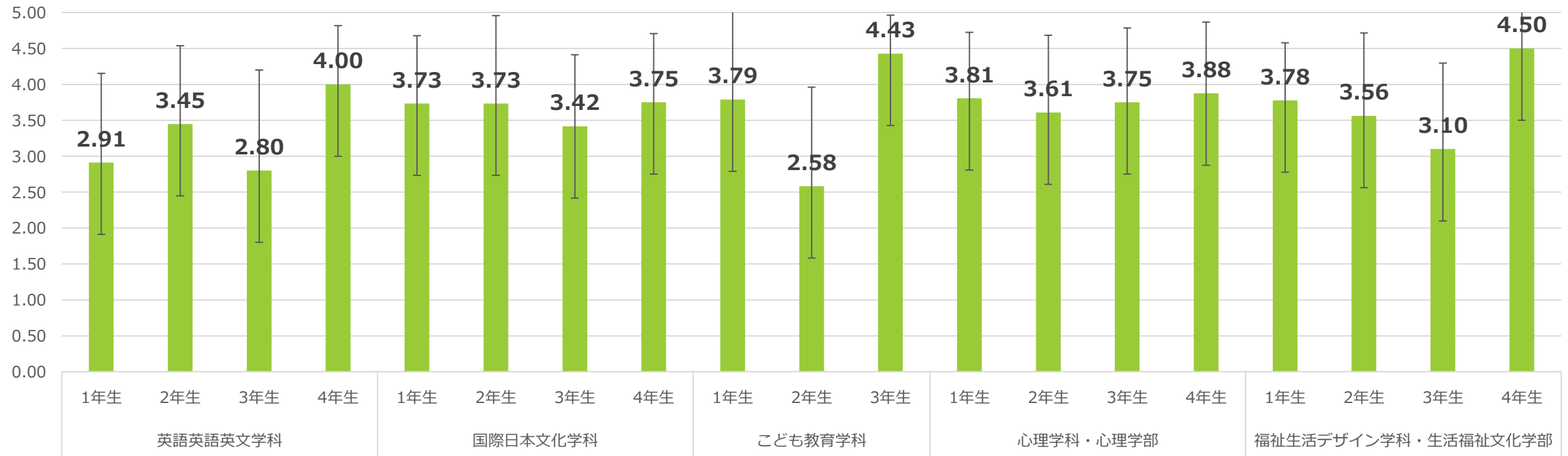


図7 オンライン授業に対する取り組み程度（5件法）

回答者全体としては、平均=3.56, SD=1.109

参考：5月は本項目なし/2020年7月平均=3.68, SD=1.095

Ⅲ. 調査結果

・ 3-2. オンライン授業に対する取り組み程度（1年生・上級生×5学科）

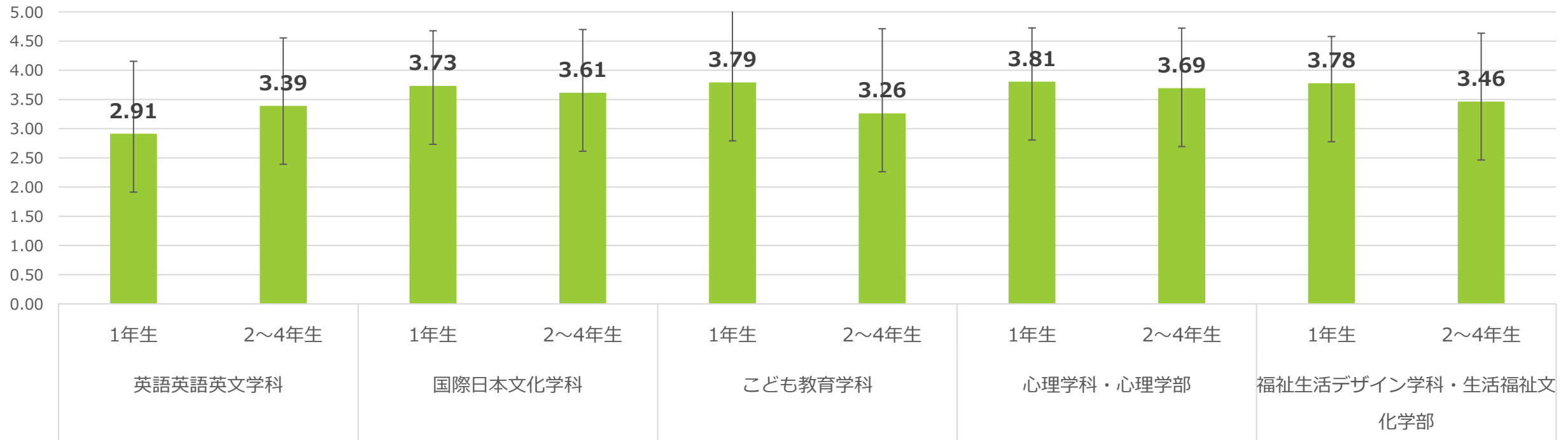


図8 オンライン授業に対する取り組み程度（5件法）

学年差はなし。学科による有意差はあり。

Ⅲ. 調査結果

• 3-3. オンライン授業に対する取り組み程度 半年の推移（全体）

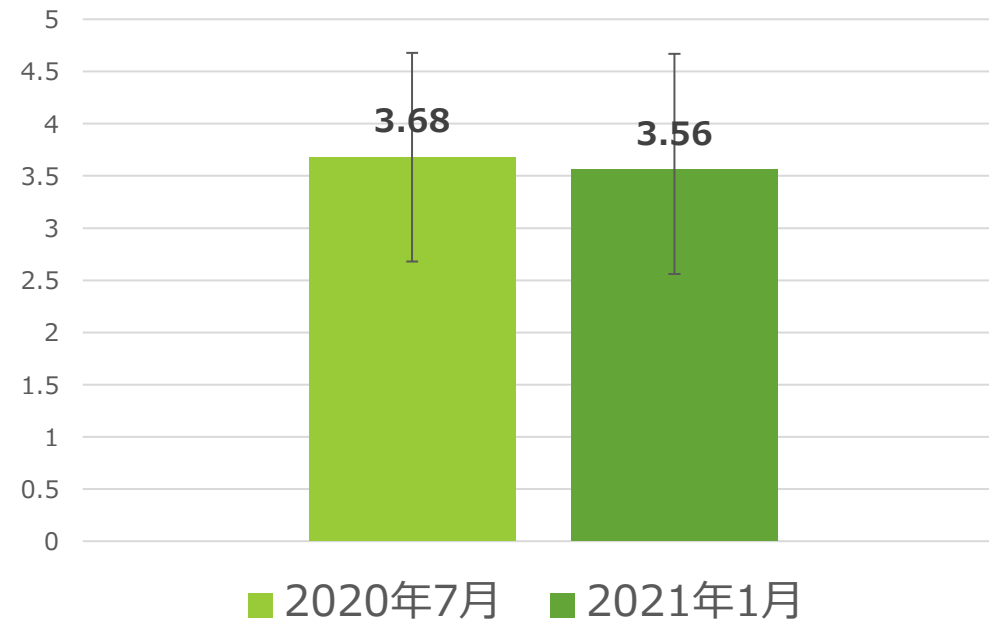


図9 オンライン授業に対する取り組み程度（5件法）

Ⅲ. 調査結果

- 4. 「オンライン授業・ブレンド授業」について，15回の授業の内，オンライン授業の割合はどの程度でしたか？（全体）

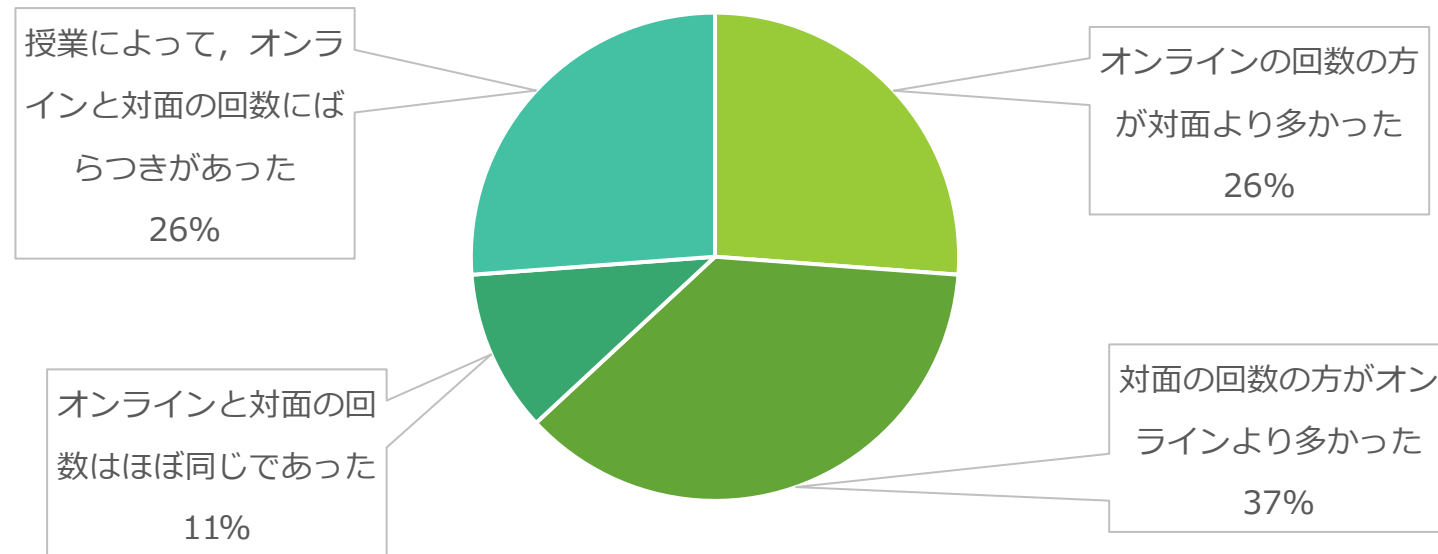


図10 15回の授業中，オンライン・対面授業の割合（％）

15回に占める割合として「対面授業の方が多い」と回答した者が多いが，授業によって「対面」と「オンライン」が割合が様々であった様子がうかがえる。

Ⅲ. 調査結果

・ 5. 現在受けているオンライン授業の形式（複数回答/1年生・上級生別）

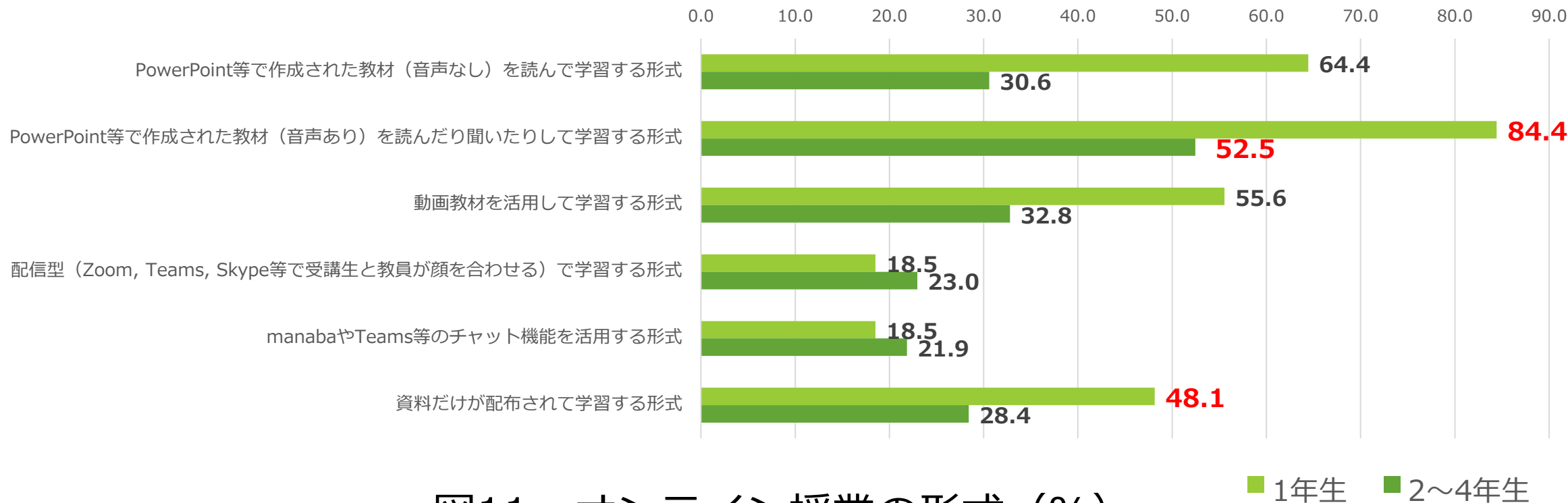


図11 オンライン授業の形式（%）

全体としては、「PowerPoint（音声あり）で作成された教材を読んで学習する」形式が最も多い。「音声なしのPowerPoint教材」は2020年7月調査より低下傾向。
次頁で、学生には学習効果が最も低いと評価されている「資料だけが配布されて学習する形式」は特に1年生で割合が高い（48.1%）。

Ⅲ. 調査結果

・ 6-1. 最も学習効果を感じたオンライン授業の形式（1年生・上級生別）

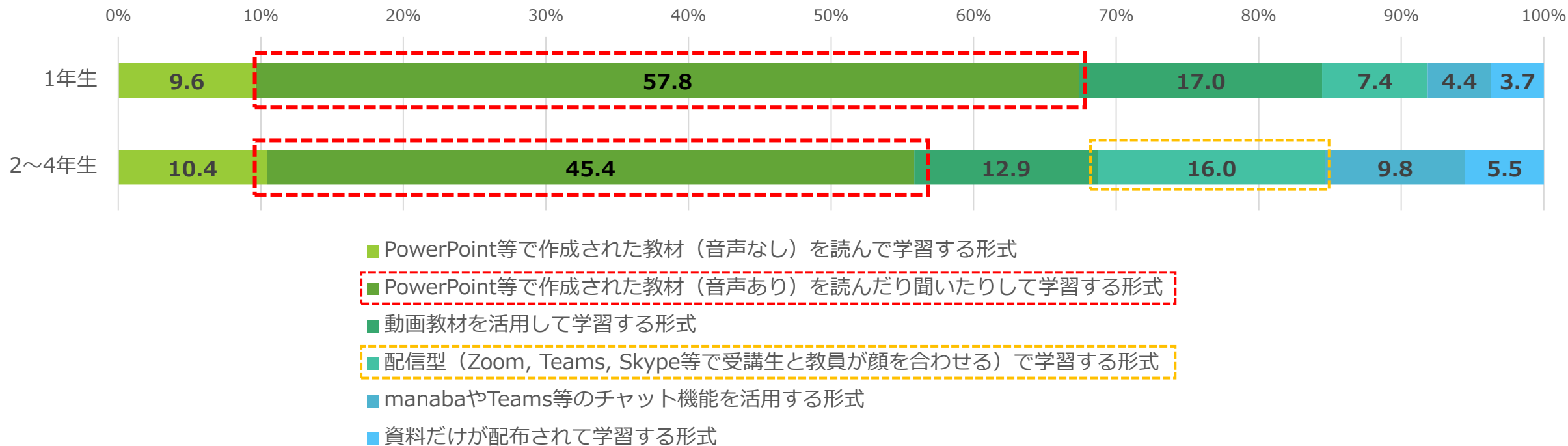


図12 最も学習効果を感じたオンライン授業の形式（%）

全体として「PowerPoint等で作成された教材を読んだり聞いたりする形式（音声あり）」の割合が最も高く、上級生では、前期と同様、「配信型で学習する形式」を選択する者の割合も比較的高い。

Ⅲ. 調査結果

・ 6-2. 最も学習効果を感じたオンライン授業の形式（学科別）

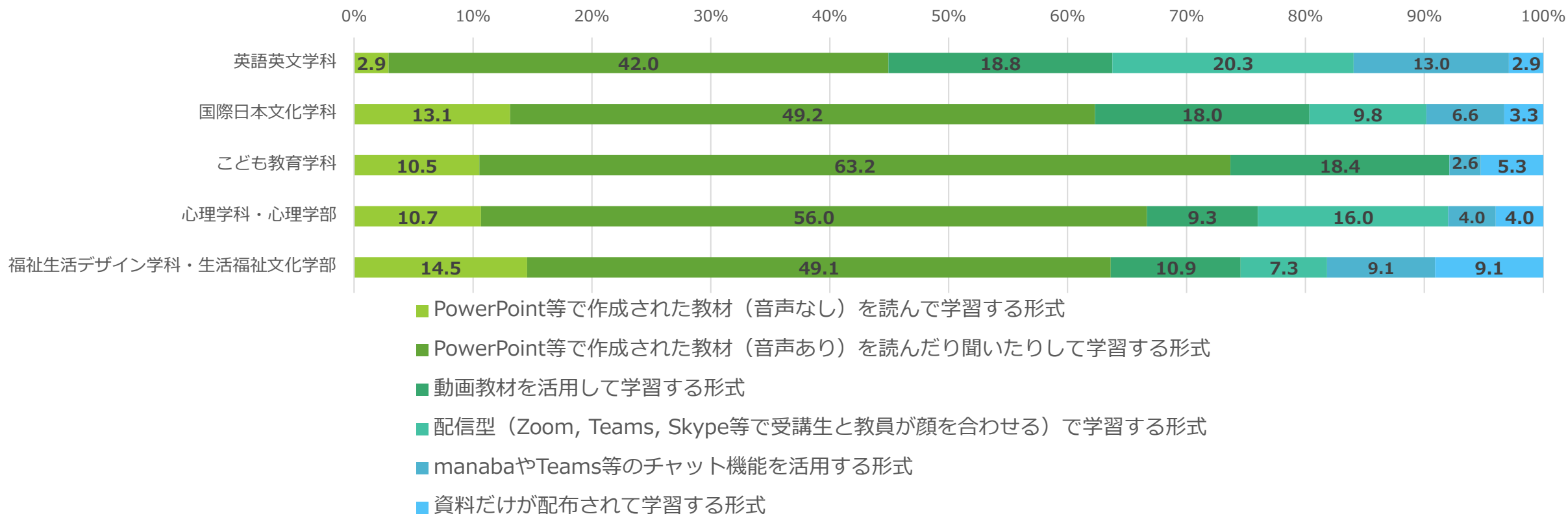


図13 最も学習効果を感じたオンライン授業の形式（学科別）（%）

学科問わず、「PowerPoint（音声あり）の教材を読んだり聞いたりして学習する形式」の学習効果が高いが、学科により、「配信型」や「動画教材を活用する授業」を選択する割合も比較的高い。

Ⅲ. 調査結果

- 7. オンライン授業・ブレンド授業では、課題に対する先生の何らかのフィードバックがありましたか？（1年生・上級生別）

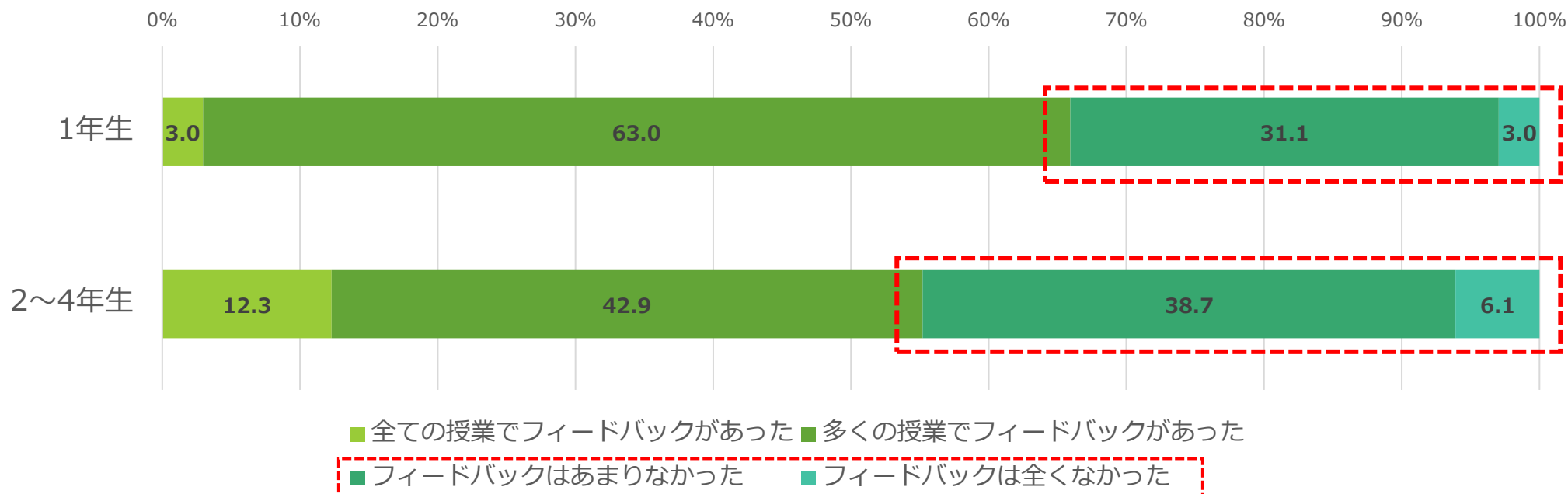


図14 フィードバックの有無 (%)

全体として、6割前後の学生が「授業でフィードバックがあった」としているが、上級生で「フィードバックは（あまり）なかった」回答している者の割合も多い(44.8%)。早稲田大学の「オンライン授業に関する調査結果（2020）」では、**フィードバックがあるかどうかはその授業が有益かどうかを左右する**項目の一つとなっている。

Ⅲ. 調査結果

- 8. オンライン授業・ブレンド授業では「課題」や「振り返り」が提示されていましたか？（1年生・上級生別）

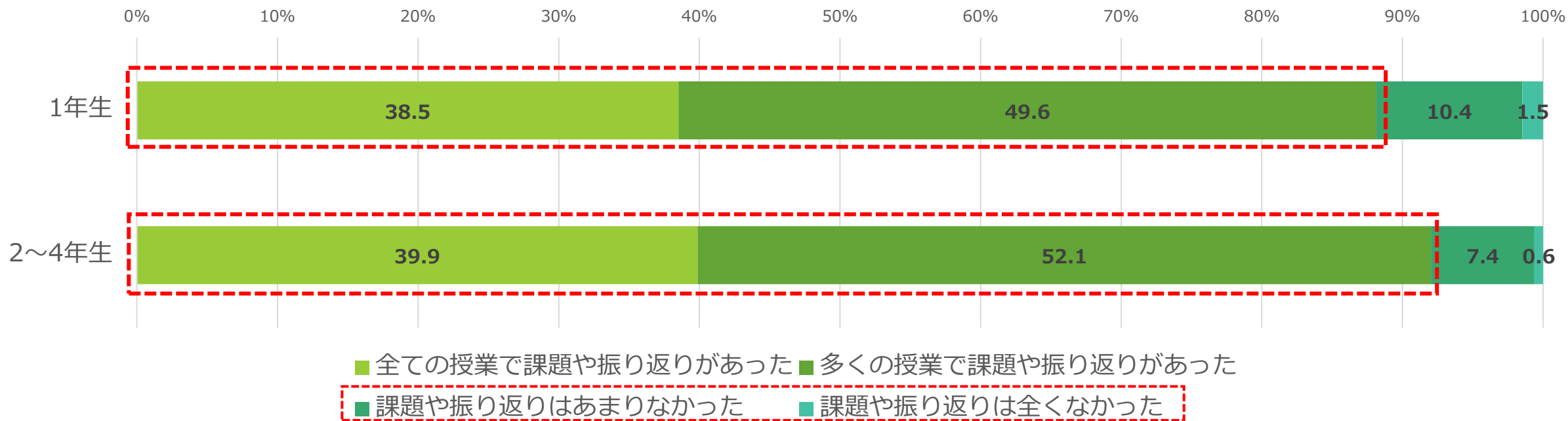


図15 課題・振り返りの有無 (%)

授業の「課題・振り返り」は多くの授業で実施されている様子がうかがえる。

Ⅲ. 調査結果

- 9. オンライン授業・ブレンド授業では、15回の授業の途中に「中間課題」（小テストや中間レポート）がありましたか？（1年生・上級生別）

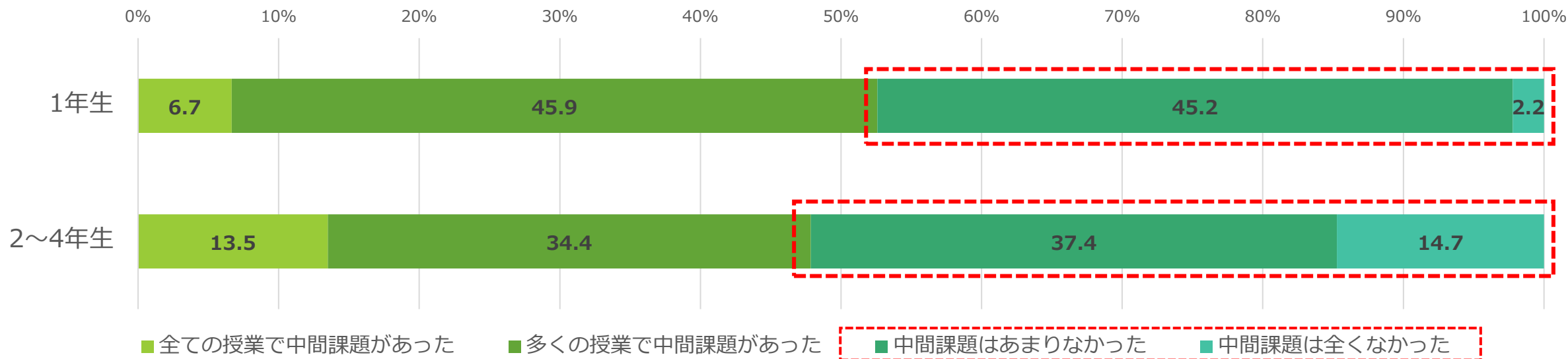


図16 中間課題の有無（％）

中間課題の有無は「あり」「なし」の回答がそれぞれ半数程度となっている。

Ⅲ. 調査結果

- 10. オンライン授業・ブレンド授業において、授業内容や授業方法に学生の意見が反映されていましたか？（1年生・上級生別）

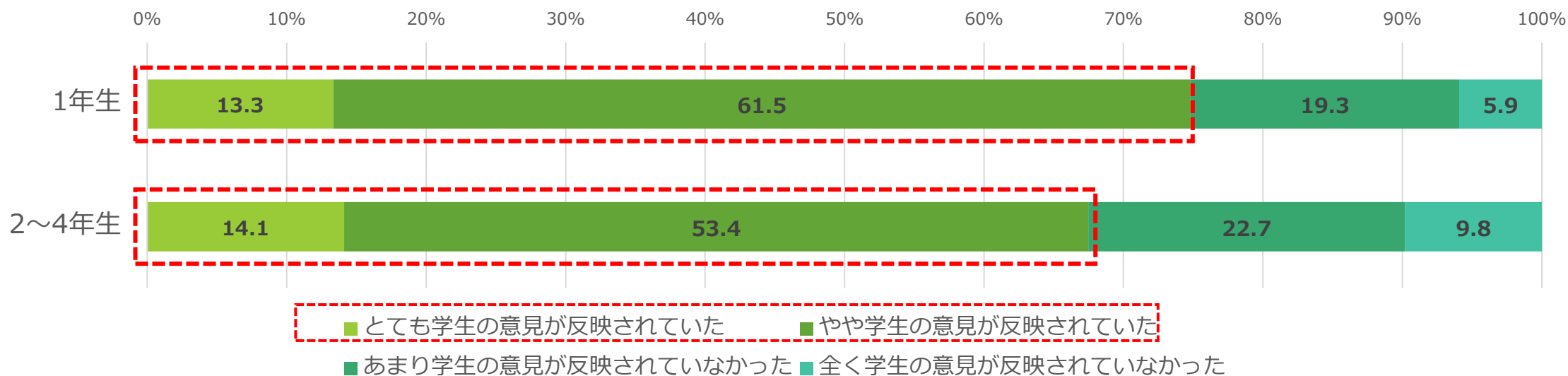


図17 学生の意見の反映 (%)

「学生の意見が授業内容に反映されている」と感じている学生の割合の方が多いが、上級生は3割程度が学生の意見が(あまり)反映されていないと回答。

早稲田大学の「オンライン授業に関する調査結果(2020)」では、**授業の進め方に学生の意見が反映されることは、その授業を有益かどうかを左右する**項目の一つとなっている。

Ⅲ. 調査結果

- 11. 「ブレンド授業」の場合, 「オンラインで授業を行う日」は, シラバスや授業開始時の説明通りに実施されていたか? (1年生・上級生別)

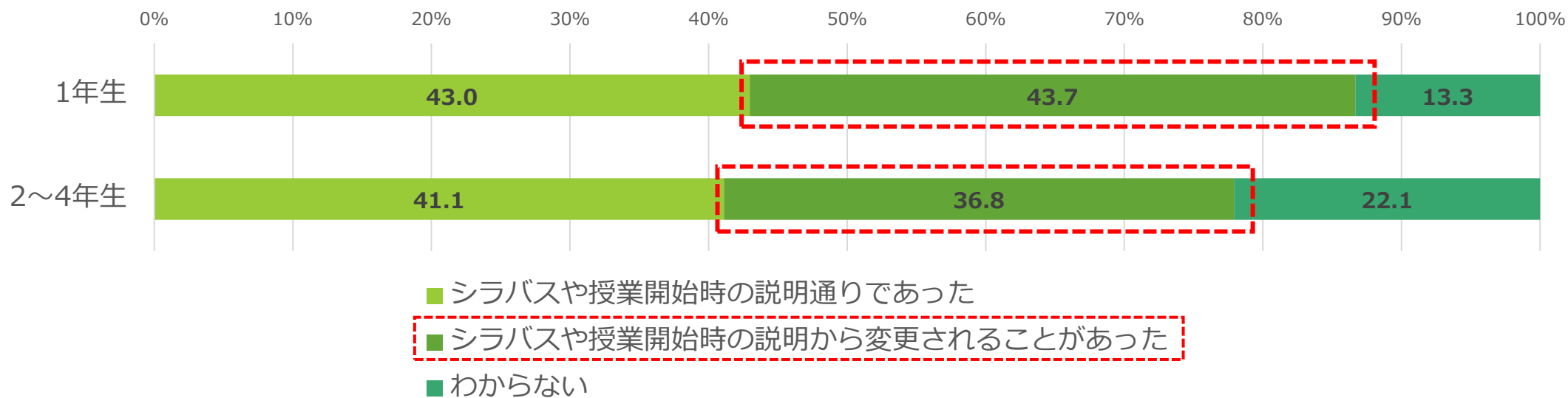


図18 「オンラインで授業を行う日」は説明通りになっていたか (%)

「オンラインで授業を行う日」が授業開始時の説明通りだった」と回答した割合がいずれの学年も4割程度。「シラバスや授業開始時から変更されることがあった」という回答も4割前後あり。1月の緊急事態宣言後には授業スタイルの変更を余儀なくされるケースがあったことが予想されるが、自由記述でも、授業方法の変更について混乱が生じている様子がうかがえ、授業方法の周知徹底が必要である。

Ⅲ. 調査結果

・ 12. オンライン・ブレンド授業で困ったこと（複数選択/1年生・上級生別）

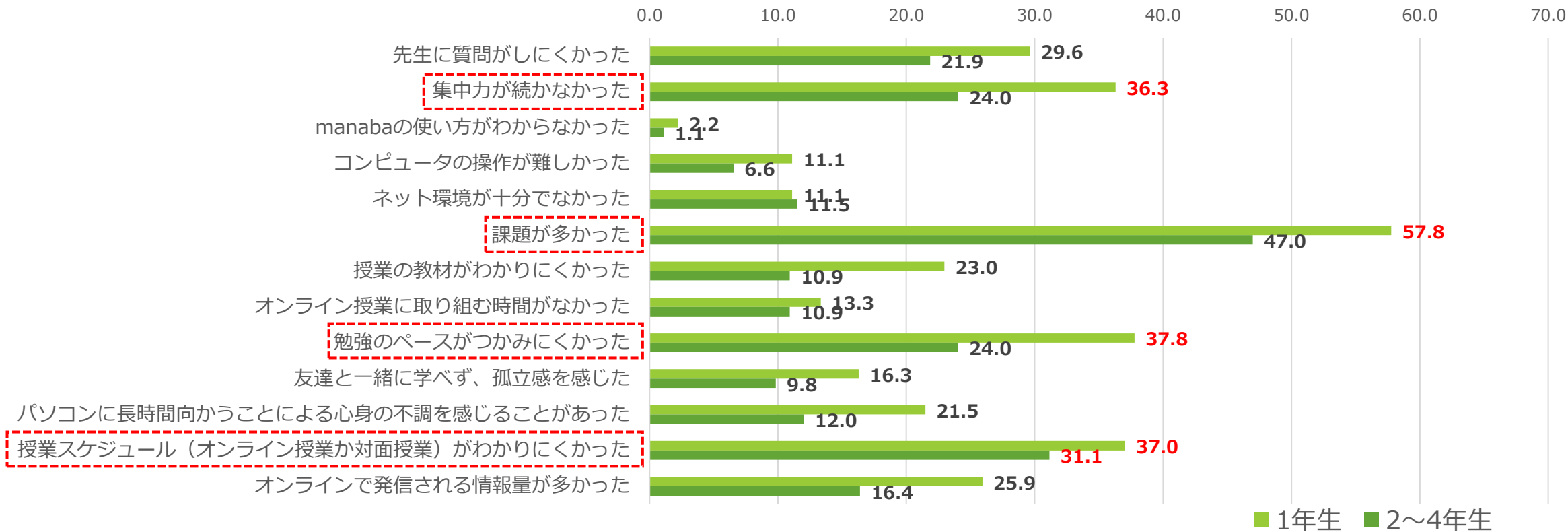


図19 オンライン授業で困ったこと（%）

2020年7月時と比較すると、「課題の多さ」や「質問のしにくさ」、「勉強ペースのつかみにくさ」は減少傾向。一方、1年生と上級生の差が比較的大きい項目が多く、1年生の方が依然としてオンライン授業での困り感が強い。本調査で追加した「授業スケジュールのわかりにくさ」は1年生、2～4年生ともに、3割を超える。

Ⅲ. 調査結果

・ 13. オンライン授業で良かったと思うこと（複数選択/1年生・上級生別）



図20 オンライン授業で良かったと思うこと (%)

7月調査と同様に、自分のペースで、自宅で学習できることをメリットとして選択する者が多く、復習が何度も出来ることも全体として割合が高かった。また、1年生で「コンピュータ操作の知識やスキルが高まった」ことを選択している者が多い。

一方、「教材のわかりやすさ」「質問のしやすさ」を選択する者の割合は依然として低く、「教室より集中できる」と回答した者も特に上級生では16.9%と低くなっている。

Ⅲ. 調査結果

- 14-1. あなたが最も好む授業スタイルはどれですか？（講義・演習科目×1年生・上級生別）

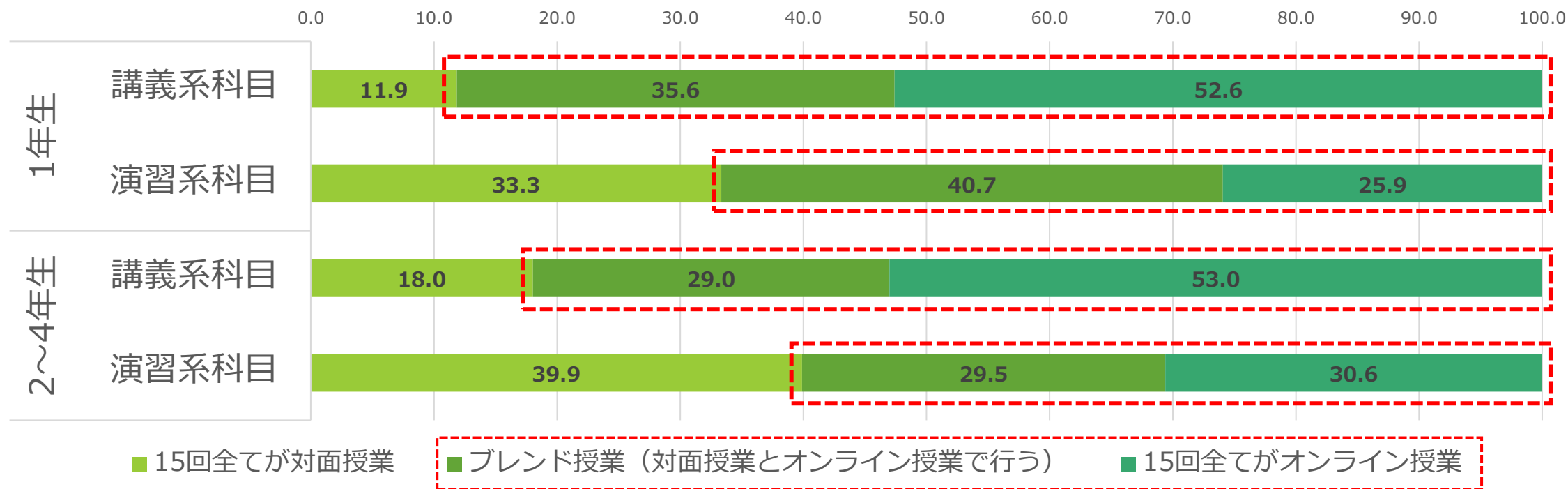


図21 最も好む授業スタイル (%)

「講義系科目」では、全体としてオンライン授業を選択する割合が高く、対面授業のみで行うことを選択する学生の割合が低い。「演習科目」についても、「15回全て対面授業」を選択する者は3～4割に留まった。

Ⅲ. 調査結果

・ 14-2. あなたが最も好む授業スタイルはどれですか？（講義・演習科目×学科別）

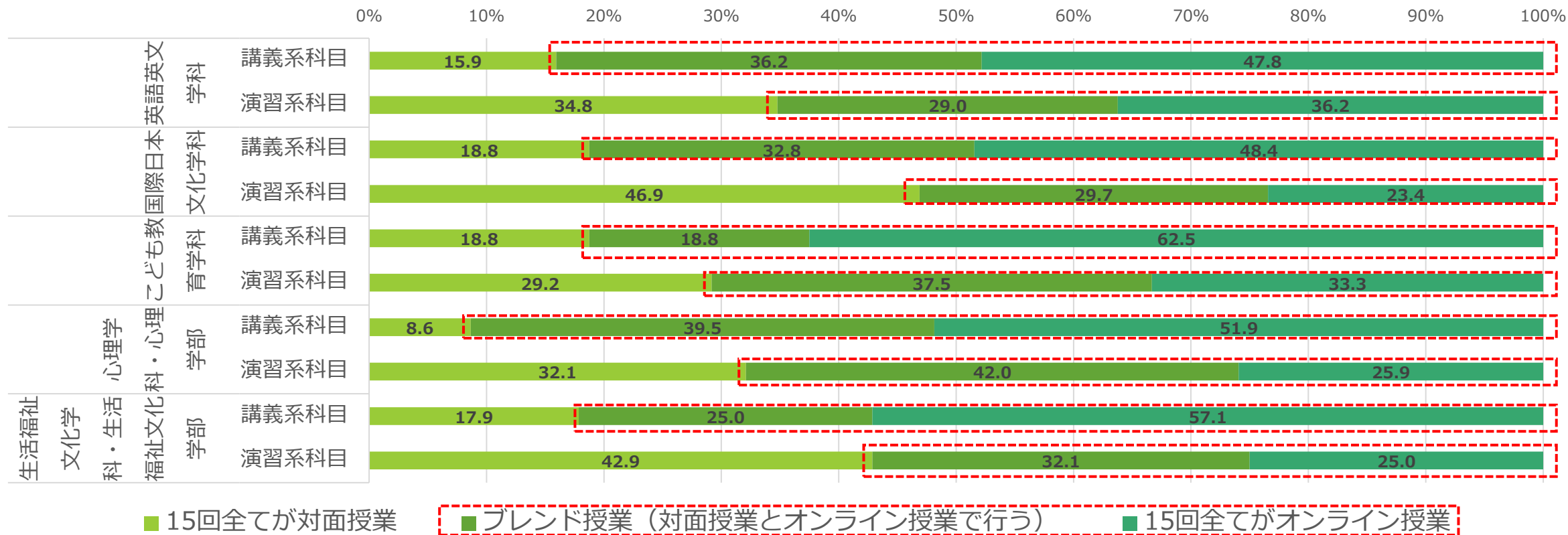


図22 最も好む授業スタイル (%)

「講義科目」はいずれの学科もオンライン授業を選択する割合が最も高く、約5～6割程度の選択率となっている。ブレンド授業とオンライン授業を合わせると、特に講義科目でのオンライン志向が強い。演習系科目は、対面授業またはブレンド授業を選択する割合が多い（英文は演習系もオンラインを選ぶ割合が高い）。

Ⅲ. 調査結果

・ 14-3. あなたが最も「学習効果」が高いと思う授業スタイルはどれですか？

(講義・演習科目×1年生・上級生別)

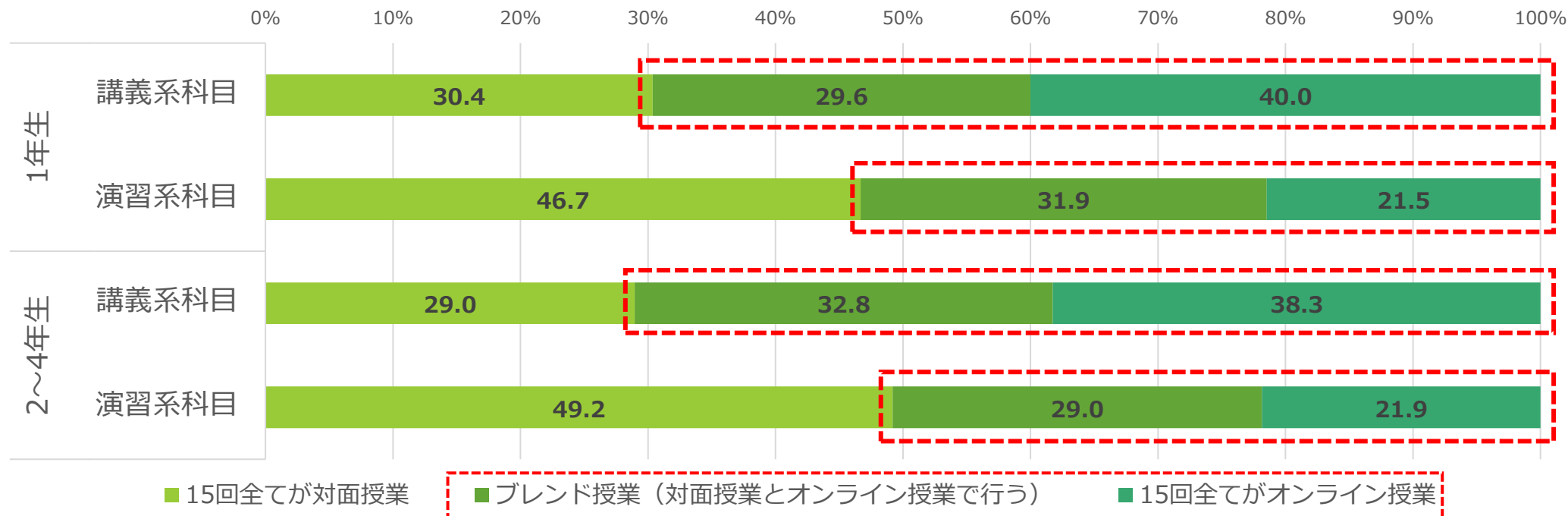


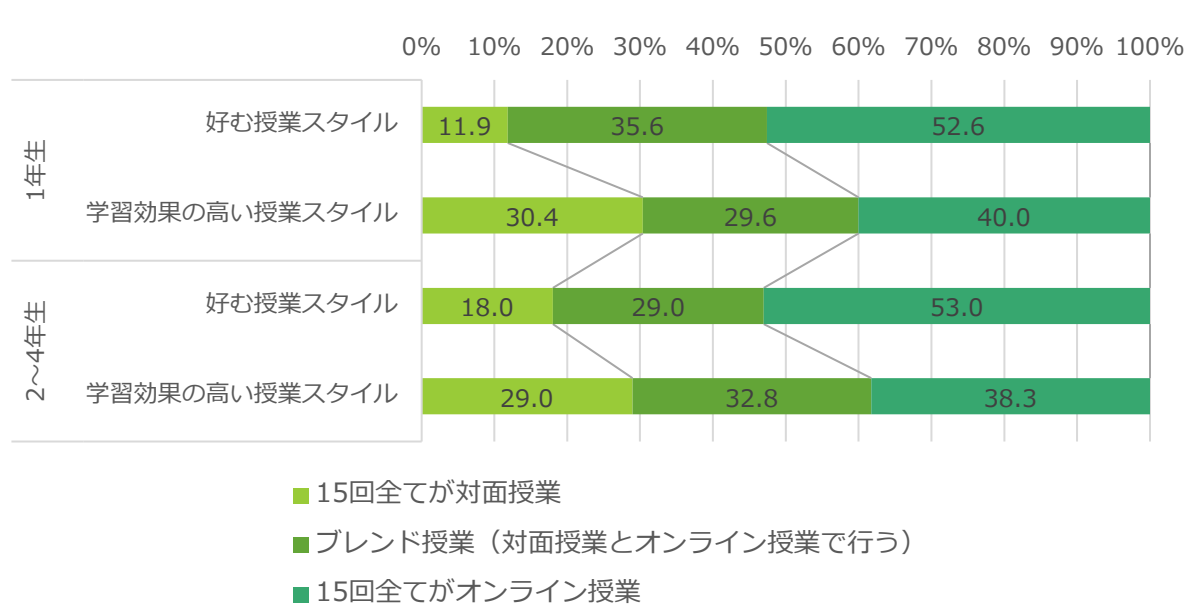
図23 学習効果が高いと思う授業スタイル (%)

学習効果が高いと思う授業スタイルは、講義系科目で各学年3割程度が「15回全てが対面授業」を選択したが、演習系科目では5割弱程度の学生が「15回全てが対面授業」を選択。図21「学生が好む授業スタイル」と比較すると、「15回全てが対面授業」を評価する割合が高くなる（図24参照）。

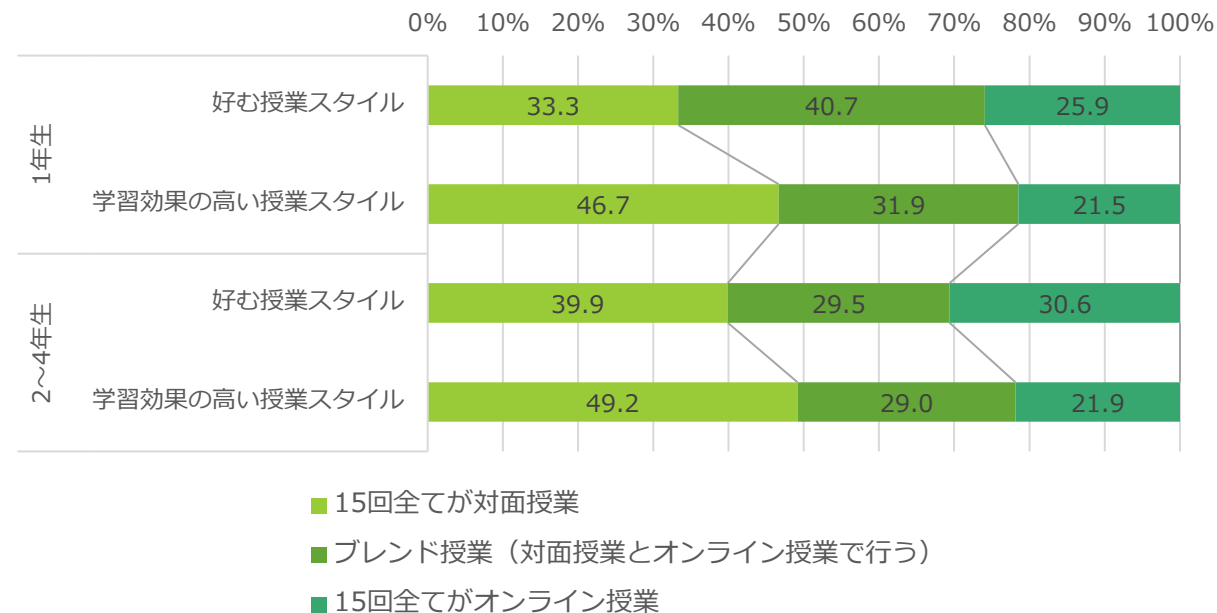
Ⅲ. 調査結果

・ 14-4. 「好む授業スタイル」と「学習効果が高いと思う授業スタイル」の比較

(1年生・上級生別)



講義系科目



演習系科目

図24 講義・演習授業における「好む授業スタイル」と「学習効果が高いと思う授業スタイル」の比較 (%)

「好む授業スタイル」と「学習効果の高い授業スタイル」には差がみられる。特に演習授業では、「15回全てが対面授業」を最も学習効果の高い授業として選択する割合が増える。
講義形式では、「好む授業スタイル」も「学習効果が高い授業スタイル」もオンライン授業を選択する者が多い。

Ⅲ. 調査結果

・ 14-5. あなたが最も「学習効果」が高いと思う授業スタイルはどれですか？

(講義・演習科目 学科別)

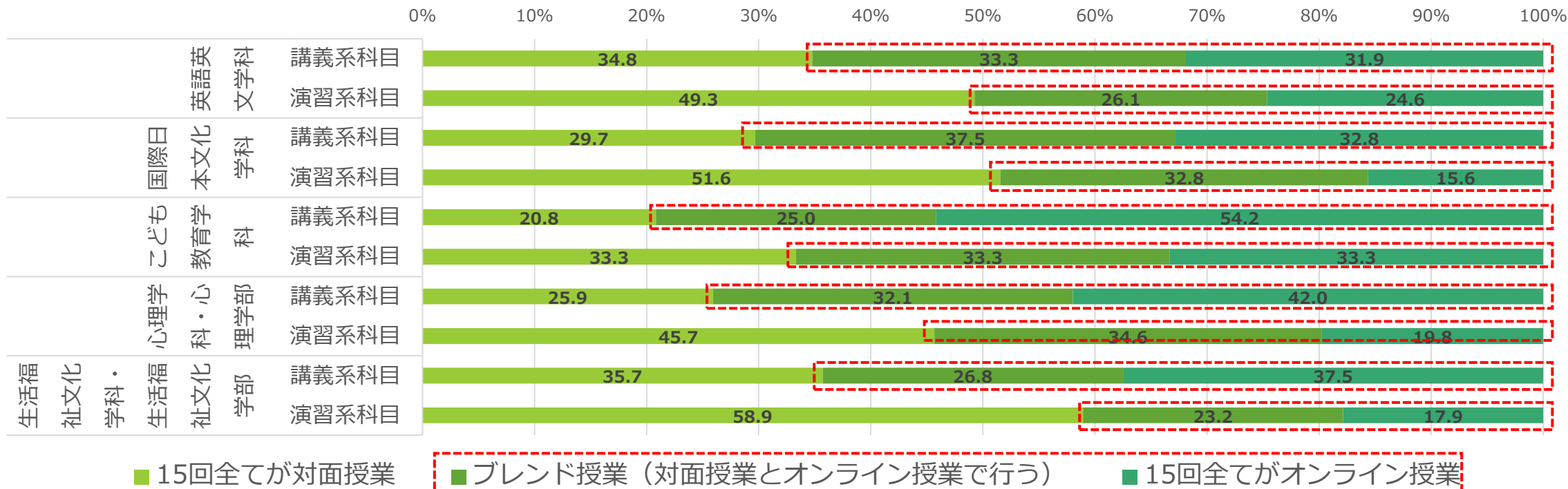


図25 学習効果が高いと思う授業スタイル (%)

各学科により傾向がやや異なるものの、講義系科目では、オンラインかブレンドを選ぶ割合が高く、英文科と福祉生活デザイン学科では対面授業を選ぶ割合も多い。演習系科目では、対面授業を選ぶ割合が高い。

Ⅲ. 調査結果

・ 15. あなたが望む，15回の授業にオンラインを取り入れる割合は？

(感染拡大時と感染収束時/1年生・上級生別)

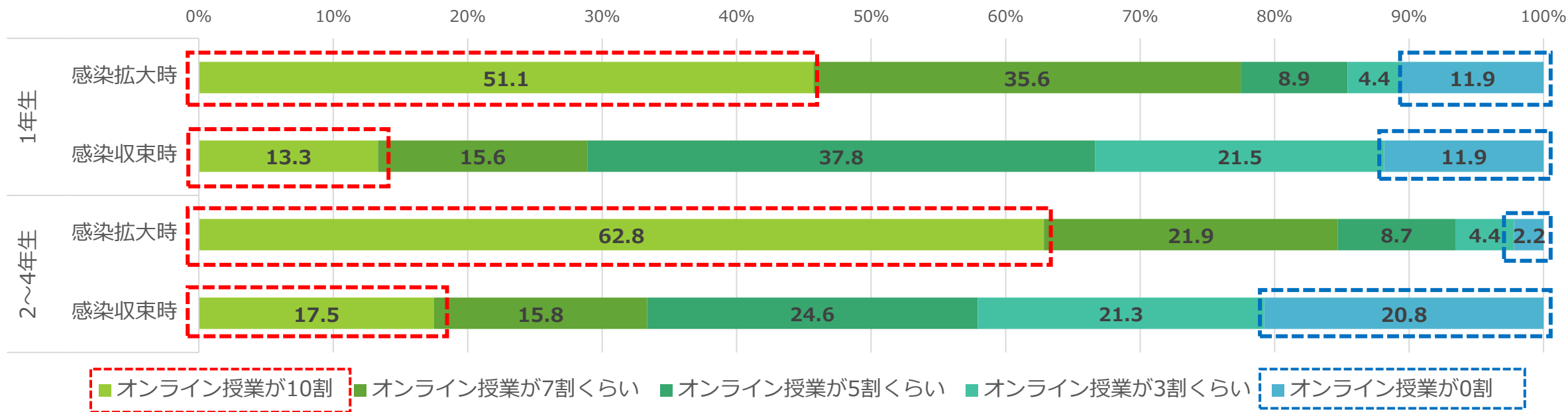


図26 15回中，オンラインを取り入れる割合 (%)

感染拡大時はオンライン授業が占める割合が高い方が好まれやすいが，感染収束時においても，完全な対面授業を希望する割合は1割～2割であり，オンライン授業を含めたブレンド授業を志向する傾向が強い。

Ⅲ. 調査結果

• 16-1. 大学の授業で何かあれば（1年次生）

自由記述結果より回答数が多かった内容をポイントとして挙げる。

1年生

自由記述の例

オンラインの対応をする授業があっても他の授業が対面だと結局リスクが高くなる（複数あり）

オンライン授業では適当に課題が出されている様な気がする

オンライン授業ではmanabaでの教員の返信が遅い（複数あり）

オンラインで十分学べる授業を対面授業でする意味がわからない（複数あり）

オンラインだと全部一緒の授業イメージで立体的に覚えることや考える事が難しい

対面かオンラインかを授業で統一してほしい（混在していてわかりにくい）

授業のスタイル（オンラインか対面か）が急に変わる（前日に変更が通知されたことがある）

授業で密になることがある（複数あり）

緊急事態宣言時は全てオンライン授業にしてほしい（複数あり）

各授業に合ったスタイルを取り入れるのが良いのではないか

オンラインか対面か，学生が選べるようにフレキシブルな対応にしてほしい

Ⅲ. 調査結果

• 16-2. 大学の授業で何かあれば（2～4年次生）

自由記述結果より回答数が多かった内容をポイントとして挙げる。

2～4年生

自由記述の例

オンラインを取り入れる取り入れないは授業によるのではないか

緊急事態宣言後も、グループワークやグループ発表が減ることが無く、感染リスクを感じた

オンライン授業ではmanabaでの教員の返信が遅い（複数あり）

オンライン授業で出来るような授業で「対面授業」は本当に必要か？（複数あり）

オンラインでもできる授業が「対面」で、対面で行ってほしい専門科目が「オンライン」であった

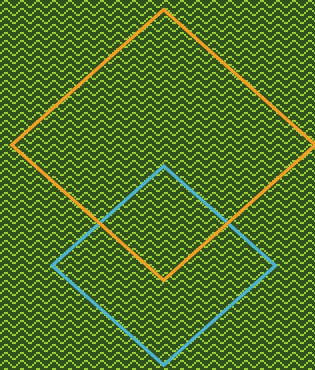
対面かオンラインかを授業で統一してほしい（混在しているとわかりづらい）

授業や試験前後に友達同士で話す人が多く、感染リスクが心配

授業で密になることがある（演習室のように座れない座席に張り紙をして欲しい）

緊急事態宣言時は全てオンライン授業にしてほしい（複数あり）

対面とオンラインが混在していると、課題を行う時間取りにくい/オンラインは課題が多い



IV 今後の授業に向けて

IV. 今後の授業に向けて

学生の声



なぜ対面授業
なぜブレンド授業
なぜオンライン授業
なのか？

ブレンド授業では
対面とオンラインが
混在していてわかり
にくい

オンライン授業で
manabaの質問
等フィードバックが
遅い・質問しにくい

課題が多い・
集中力が続かな
い・勉強のペースが
つかみにくい

スケジュールの**事前告知**や**周知徹底**に加え、**対面授業とオンライン授業が相互に密に関連した授業デザインの構築**が必要。ブレンド授業を選択することによる（教員側ではなく）**学生側のメリット**を考える必要性あり。

学生のオンライン志向（コロナ収束後も）は比較的強いものの、課題の多さやオンラインでの情報量の多さで、オンライン授業に適応の難しさを感じている学生も。**各授業では学生の声を聞きながら適宜授業を修正**していくことが重要。

「対面授業」が当たり前ではなくなり、**各学生が授業スタイルに意味・意義を求める**ようになっている。
教員には「**その授業スタイルを選んだ明確な理由**」が求められる。

オンライン授業こそ、**質問への迅速なフィードバックの必要性**あり。

FD委員会でも同様の指摘あり

1年生では3割程度の学生が教員への質問のしにくさを訴えている。

IV. 今後の授業に向けて 最後に

2020年度後期、本学では対面授業を中心としながらも、一部の授業ではオンライン授業、ブレンド授業を行ってきました。前期のオンライン授業とはまた異なる問題も生じているのではないかと考え、「第3回オンライン授業に関するアンケート」では、ブレンド授業に関する評価項目も加え、2020年度後期終了時に実施しました。

これまで実施した調査では、オンライン授業に対する不安や不満の声も多く寄せられましたが、一方で、肯定的、好意的な評価も多く、学生の中でもオンライン授業に対して一定の評価をしている様子がうかがえました。

一方、前のスライドにも記載しました通り、「対面授業を受けることが当たり前でなくなった」今、学生が、各授業で選択された「授業スタイル」に対し、その意味や意義を強く求めている傾向を本調査結果からも感じます。「なぜこの授業は対面授業で行うのか」「なぜこの授業は対面とオンラインを組み合わせた授業デザインを選択しているのか」、学生が納得する形で授業を進めていくことが教員に求められています。

今回のアンケートでは、学生達が感染収束後も「元通りの対面授業」を求めているわけではなく、オンライン授業やブレンド授業を志向する学生が多いという結果が示されています。どの様な授業スタイルを選択するにしても、私達がいかに学生にとって「学習効果が高い」と感じられる授業デザインを検討し、学生の成長につながる授業を進めていけるか、アフターコロナの大学教育を見据えて検討していく必要性に迫られています。

2021年前期開始も目前となりました。今後も一人一人の学生の声を大切に、教職員間で情報共有しながら、より良い授業を目指していきたいと考えております。本調査に協力して頂いた多くの学生の皆様、ありがとうございました。



最後までお読み頂きありがとうございました

ご質問ご意見などございましたら、教務課までご連絡下さい。